

長崎大学外国人留学生（大学院生）による

出張講義 in English

7月7日（金）、中学3年生7名、高校1年生33名、高校2年生10名が参加し、長崎大学外国人留学生（長崎大学医歯薬学総合研究科リーディング大学院）のみなさんから、英語による出張講義を実施していただきました。「気候変動と感染症（Climate Change and Infectious Diseases）」をテーマに、温室効果ガス（greenhouse gases）などの温暖化の要因や、気候変動が環境全体へ与える影響と感染症リスクの増大について全体説明がありました。

次に小グループに分かれ、蚊が媒介するデング熱（Dengue Fever）について学習しました。長崎大学言語教育研究センターの隈上麻衣先生のご協力で、コンゴ4名、ベトナム2名、ケニア1名、ラオス1名、マレーシア1名の留学生とオールイングリッシュによる講義と英語での交流を楽しみました。

放課後は、国際交流部と中学校3年生の希望者と一緒に、七夕（Star Festival）交流会を実施しました。

【生徒の感想】

- ・東京の公園でも蚊に刺されたことからデング熱を発症する事例があり、温暖化の影響を感じていた。今回輸血や妊娠からもウイルスが媒介（transmission）されることを新たに学んだ。
- ・留学生の方によるプレゼンテーションや紙芝居形式の説明があり、難しい単語は日本語の注釈を入れていただいていたので、かなり理解できた。
- ・留学生が実際にデング熱に感染した時のお話も聞くことができ、症状や治療法など質問ができてよかった。
- ・出身国の民族衣装を着用されていて、文化、スポーツ、娯楽など英語で交流ができて楽しかった。



七夕交流会の様子
国際交流部員や中学3年生の希望生徒と、ゲームや短冊の飾りつけを楽しみました！
They hung up colored strips of paper with prayers written on them on sticks of bamboo.

